

八幡中の“文化”を感じた一日となりました

学芸発表会【舞台発表の部】 10月21日(土)

スローガン『THE BEST ATAGE ~最高の感動を~』のもと、10月21日(土)、本校2階アリーナにて、学芸発表会【舞台発表の部】を開催しました。

午前の部は、6組による「合唱・合奏」からスタート、その後、学年ごとの「合唱コンクール」を行いました。このコンクール形式での合唱は、平成29年度に、当時の川越豊彦 校長先生が“学級でなにかを作り出すような学校行事”により“一つのことをやり切った達成感を体感してほしい”という思いからスタートさせたものです。その後、コロナ禍により2年間のブランクがありましたが、昨年度より復活しました。どの学級も、それぞれのクラスの特徴を生かし、これまでの練習の成果を発揮して、思いのこもった素敵な合唱を聴かせてくれました。コンクールとしての結果は様々でしたが、どの生徒の表情からも、やり遂げたという充実感、仲間と作り上げたという喜びを感じました。



| 学年 | 金賞 | 銀賞 | 銅賞 | 指揮者賞 |
|----|----|-------|-------|-----------------------|
| 3年 | 4組 | 1組 | 2組・3組 | 3-1・百木はるさん、3-4・吉田光毅さん |
| 2年 | 1組 | 3組 | 2組・4組 | 2-3・三宅千怜さん |
| 1年 | 2組 | 1組・3組 | 4組 | 1-2・長谷川実紀さん |

特別賞：6組 伴奏者賞：全学級の伴奏者

午後の部は、部活動等、今年の活動の成果の報告・発表を行いました。翌週に荒川区連合英語発表会を控えた学校代表生徒を含む「英語科発表」、夏の被災地派遣に参加したボランティア防災部生徒による「岩手県釜石市被災地訪問報告」、2週間後に区大会を控えた演劇部による発表、夏の東京都吹奏楽コンクールで金賞を受賞した吹奏楽部による演奏など、どの発表も練習の成果を発揮し見応えのある演技・演奏を披露してくれました。それに対して鑑賞する生徒も、声援や拍手などで応えてくれて、全校で作り上げた舞台発表となりました。その後の閉会式では、来賓としてお出でいただいた近江 前校長先生から講評と励ましのお言葉をいただきました。



| 発表 | 演目、発表者 等 |
|-------------|---|
| 英語科発表 | “Japan’s Funny Short Stories”【14 小澤 楓、野口 紡】、 “Swimmy”【21 笹目 悠】、“Walt Disney”【34 篠崎 結衣】 |
| ボランティア防災部発表 | 岩手県釜石市被災地訪問報告【23 佐藤瑠南、24 寶石 歩】 |
| 演劇部発表 | 「PE! PE! PE! RENGUINS!! ~2011~」 |
| 吹奏楽部発表 | 吹奏楽のための交響曲「ワインダーク・シー」 他 |

試合や競技会があるためか、日頃、運動部の活躍を目にすることが多いですが、この学芸発表会では、文科系のさまざまな活動を見ることができました。レベルの高い演奏、楽しさが伝わる演奏を聴かせてくれた吹奏楽部、見ごたえがあり、他校では珍しくなりつつある生徒演劇をみせてくれた演劇部、生徒の書いたデザインからりっぱな大看板をつくってくれた美術部、合唱の楽しさ・素晴らしさを改めて感じさせてくれた有志合唱など。どれもその出来に感心すると共に、生き生きと取り組む生徒たち生徒の姿を見ていると、こちらまで楽しくなってきます。学校というところには、部活動を含め、こうしたいろいろな“活動のチャンス”があります。生徒のみなさんには、そのなかからなにか一つでも自分のやりたいことをみつけたり、取組を通じてよかったと思える体験を積み重ねてくれたりしてほしいと願っています。

また、今回の学芸発表会は、今年度60周年を迎えた尾久八幡中にとって、学校文化の1つの到達点であり、次の新たな10年に向け、さらに良いものにしてほしいと思います。八幡中の“文化”を感じた一日となりました。